



建設キャリアアップシステムニュース 第92号

東京土建一般労働組合 CCUS推進室

11/30現在	数
技能者登録	2405
事業者登録	753
技能者助成給付	1998
認定登録機関設置	26

「大工工事業」課題の第1位は人材不足／レベル判定無料の特別措置を実施

人材不足の打開、CCUS活用で入職者定着へ！

大工課題1位は人材不足

国交省が年に1度行う、2020年2月に許可事業者約1万2千社に質問した「建設業構造実態調査」が10月9日に公表されました。「大工工事業」で、経営上の課題の問いに(上位5位まで回答)、全体で「人材不足」と回答した割合が74.6%で1位で以下、「利益率の低下」61.2%、「民間需要の減少」50.3%、「コストダウン要請の高まり」49.5%、「後継者問題」42.7%の順でした。資本金500万円未満の法人では、「人材不足」81.5%、「利益率の低下」63.0%、「民間需要の減少」55.6%でより人材不足が深刻です。

Eラーニングでレベル判定無料！

国交省は11月19日、CCUSカードを所持する技能者のレベルアップのため、事業主が行う「能力評価(レベル判定)申請」について、期限措置で受講すれば無料(申請料3千円+カード更新料1千円)とする「スキル向上特別講習」(Eラーニング、先着5千人)を実施すると発表しました。要綱は次の通り。

【受講対象者】CCUSカードの取得者で受講終了後、2月末までにレベル判定をする方(判定申請はCCUS登録事業者が行う)

【講習受講料/期間】無料/2020年11月19日~2021年1月末まで(予定)

【特典】受講すれば、能力評価(レベル判定)の申請をする方に先着5千名まで、能力評価(レベル判定)手数料(4千円)を無料。

【受講方法】

①受講者を登録、建設業振興基金HPから申込み

<https://www.kensetsu-kikin.or.jp/humanresources/reiwa-tokuken/>

②Eラーニングを受講、日建学院HPから①によって届いた受付完了メール(ログインID、パスワードが記載)を使用し、ログイン

<http://sss.nikken.tv/SSSUserWeb/SA00000>

③レベル判定を申請、受講後に次のHPより所属事業所が行う。先着5千名に新CCUSカードが送付されます。

https://noryoku-hyoka.keg.jp/level_1.0.0/portal

次の全建総連HPでも説明されています。

<http://www.zenkensoren.org/kensentuginousyanoryokuhyoukazennsyokusyu/>



建設キャリアアップシステム 仲間の現場で続々と蓄積がスタート！

登録相談は東京土建で！

技能者(35職種)の4段階カード交付2020年、全職種21年スタート
事業所の企業見える化評価(建築大工等の一部の職種)2021年スタート

- 建設業外国人技能者のCCUS登録 2020年1月義務化
- 建設業許可の新規・更新で社保加入を要件化 2020年10月原則化
- 施工体制台帳に作業員名簿添付義務(CCUSによる社保確認)2020年10月開始
- 建退共のCCUS活用電子申請(カードタッチで掛金充当)2020年10月一部開始
- 標準見積書のレベル別賃金目安、職長手当別枠支給 2021年4月改訂
- 公共工事のCCUS段階的実施 2023年4月民間を含む全工事完全実施

CCUSで

技能者は

就業実績と保有資格が見える化され、賃金アップ・処遇改善へ！さらにキャリアパスが見通せて、若者に選ばれる業界へ！

事業者は

取引実績と従業員を大事にする企業のPRで、信頼アップ！さらに元請・お客さんに施工力が見える化で、受注改善へ！

蟹澤教授、関東地協の 講演で処遇改善にCCUS

◆蟹澤教授、若年入職者増をめざそうと主張

国交省が開催したCCUSWEBセミナー(11/12)で講演した蟹澤教授は、全建総連関東地協の講演で(昨年8月)、次のように言います。建設技能労働者は2010年からの4年間で約40万人減少。国交省は方策を打ち出しているが、将来的に建設技能労働者は増える見通しはなく、減少を食い止めることがカギとなっており、若い人が入職しなければ建設業は持続できないということが問題だ。

国は外国人受入れ政策を取り入れたが、ベトナムは現在、IT系の開発拠点となり大卒者で日本に技能実習に来ると答える人はほとんどいない。中国の鉄筋工は自国で8千円の賃金を得るようになり日本に来なくなっている。外国人が喜んで来るとは期待できない。

◆子どもに建設業を勧めたくない理由

さらに教授は、建設産業は3Kだから入職者が減少したのでしょうか、と問います。現場で働く皆さんは非常にやりがいを感じている。問題は日給月給制度がまだ続き、休日も少ないことだ。建設技能労働者の約9割は子どもに建設業で働くことを勧めたくないと答え、その理由は「休みが取りづらい」「賃金が低い」「将来のキャリアアップが描けない」の3点だ。

建設業で働く人が全員、子どもの運動会に行けるようになれば、この問題は改善しないでしょう。と述べ、週休2日、1日8時間労働、平均的な手取り約2万6千円が実現しているアメリカのような水準に達するには、日給月給制度から月給制に転換が必要だと言います。

◆最大メリットは「建設技能者」になれること

CCUSは小さい現場では導入が難しいとの声がある。しかし、CCUSで入退場を確認し賃金を計算して残業代を払うようにしなければ、若い人は定着しない。韓国でもシンガポール

でも入退場管理は普通に行われている。

日本で犯罪があると「自称建設職人」の報道が非常に多く、建設職人の印象を悪くしている。CCUSでこの状況を払しょくしなければならぬ。国交省の昨年4月告示で「建設技能者はCCUSに登録されたものをいう」と法的根拠を定めた。CCUSの最大のメリットは「自称建設職人」ではなく、カードを持つことで正式な「建設技能者」に認定されることだ。

◆CCUSで能力評価を活用し、アピールを

そして次のように話しました。2020年4月から4段階のカードでレベル判定される能力評価制度がはじまる。エンドユーザーから仕事を受注するときに、高いレベルだと簡単に証明でき、「CCUSに登録していない悪徳リフォーム業者は断ればいいんですよ」と差別化できる。他産業でも個人タクシーでは「マスターズ制度」、観光バスでは「事業者安全評価認定制度」があり星の数で評価され、お客さんに向けて安心安全が制度としてアピールできている。建設業でも事業者の「見える化」制度が必要だ。



レベル判定システムは、振興基金CCUSのHPの上記コーナーから検索して下さい。

◆若年入職者増で建設業の持続を

若手確保のために、入職者を辞めさせない仕組みが必要であり、早く仕事できて仕事が面白くなる目標が見えることが大切だ。高い技能をもつ技能者が「見える化」されるCCUSが重要となっていく。ゼネコン、ハウスメーカーと建設労組が建設業でも「働き方改革」が当たり前になったと消費者に理解してもらうことが必要だ。

CCUSに登録すればいきなり賃上げということはまだないが、CCUS登録しなければ若年者定着も働き方改革もスタートできない。CCUSに日本のすべての建設技能者が登録すれば世界一のシステムとなる、と熱意を込め蟹澤教授はCCUSの意義を話していました。

よくある登録実務での相談⑩

ネット申請で旧字体の名前が入力できない！
認定登録機関の入力でも同じことがあります。
同音同意異体字を入力します。認定登録機関では受領書発行時に確認できるので、事前に本人から異字の了解を受けておきましょう。

